

長野市

災 令和元年
東日本
台風 害

記録誌

ONE  HEART



令和3年3月 長野市

はじめに

令和元年東日本台風災害は、長野市がこれまでに経験したことのない甚大な災害となりました。令和元年10月12日から13日にかけて、市内に初めてとなる大雨特別警報が発表される中、本市を襲った記録的な大雨は、堤防の決壊や越水、内水氾濫など甚大な浸水被害、土砂災害等を引き起こしました。

この災害により、かけがえのない尊い命が失われ、発災直後には6千人を超える方々が避難をしました。

改めて犠牲となられました方々に謹んで哀悼の意を表しますとともに、被災された多くの皆様に心からお見舞いを申し上げます。

浸水等により全壊した住家約900棟をはじめ、大規模半壊、半壊、一部損壊を含めて4,000棟を超える甚大なものとなり、道路や電気、上下水道などの社会インフラも被災しました。また、農地や事業所も被災し、農業や商工業等は深刻な打撃を受けました。さらに、大量に発生した災害廃棄物や堆積した土砂は、復旧・復興への大きな課題となりました。

こうした中、災害発生直後から、自衛隊、警察、消防、医療関係者等と懸命の救助活動や捜索活動を実施するとともに、避難所における被災者の支援や、河川等の応急復旧、災害廃棄物や土砂の処理等に、国・県、全国の自治体等の関係機関などと連携して取り組みました。

この間、自衛隊や警察、消防、医療関係者、国の関係省庁や全国の自治体等の関係機関、市内・県内はもとより全国から駆けつけてくださったボランティアの皆様、そして自身が被災しながらも救助等に当たられた地域の皆様、更には義援金等をお寄せいただきました方々など、実に多くの皆様方に温かな多大なご支援を賜りました。ここに改めて心からお礼を申し上げます。誠にありがとうございました。

発災から2か月が経過した後は、応急対応から本格的な復旧・復興への移行を見据え、新たに災害復興本部を設置するとともに、令和2年4月には「長野市災害復興計画」を策定し、復興への道筋を示して、市の総力を挙げて取組を進めてきたところです。

これまでのところ、復旧・復興は災害復興計画に沿って概ね順調に進んでいますが、今なお応急仮設住宅にお住まいで、住宅再建の方向性が決まらない方もおられます。被災された皆様が一日も早く安定した住まいで新たな生活を始められ、穏やかな日常を取り戻すことができるよう、引き続き被災者に寄り添った支援とともに、地域及び本市の復興に全力を尽くす決意です。

この記録誌は、この災害を記憶にとどめ、その教訓を風化させることなく後世に伝え、今後起こり得る災害時の対応や危機管理、住民等の防災意識の更なる向上につなげることを目的に取りまとめました。

本誌の発刊が、自助・共助・公助にわたる取組を更に推し進める契機となり、より災害に強い長野市を実現する一助となることを祈念いたします。

最後に、編集にご協力いただきました関係各位に深く感謝申し上げます。

令和3年3月

長野市長

加藤久雄





上空から見た令和元年10月13日朝の長沼地区、画面中央に千曲川堤防の決壊箇所が見え、住宅、果樹園、学校、工業団地、国道18号と沿線の商店も水に覆われた
(10時40分撮影)



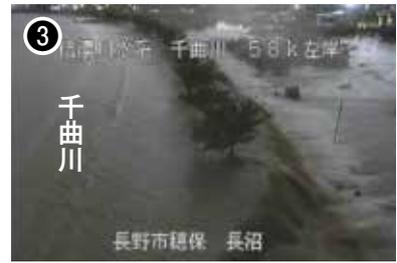
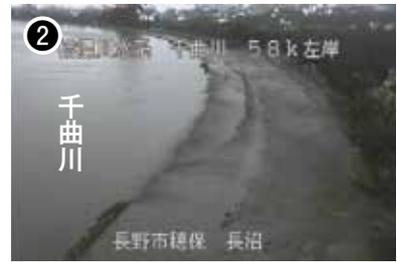


令和元年10月13日08時16分、冠水した穂保（長沼地区）の住宅地を上空から警戒する自衛隊ヘリ（共同通信社提供）

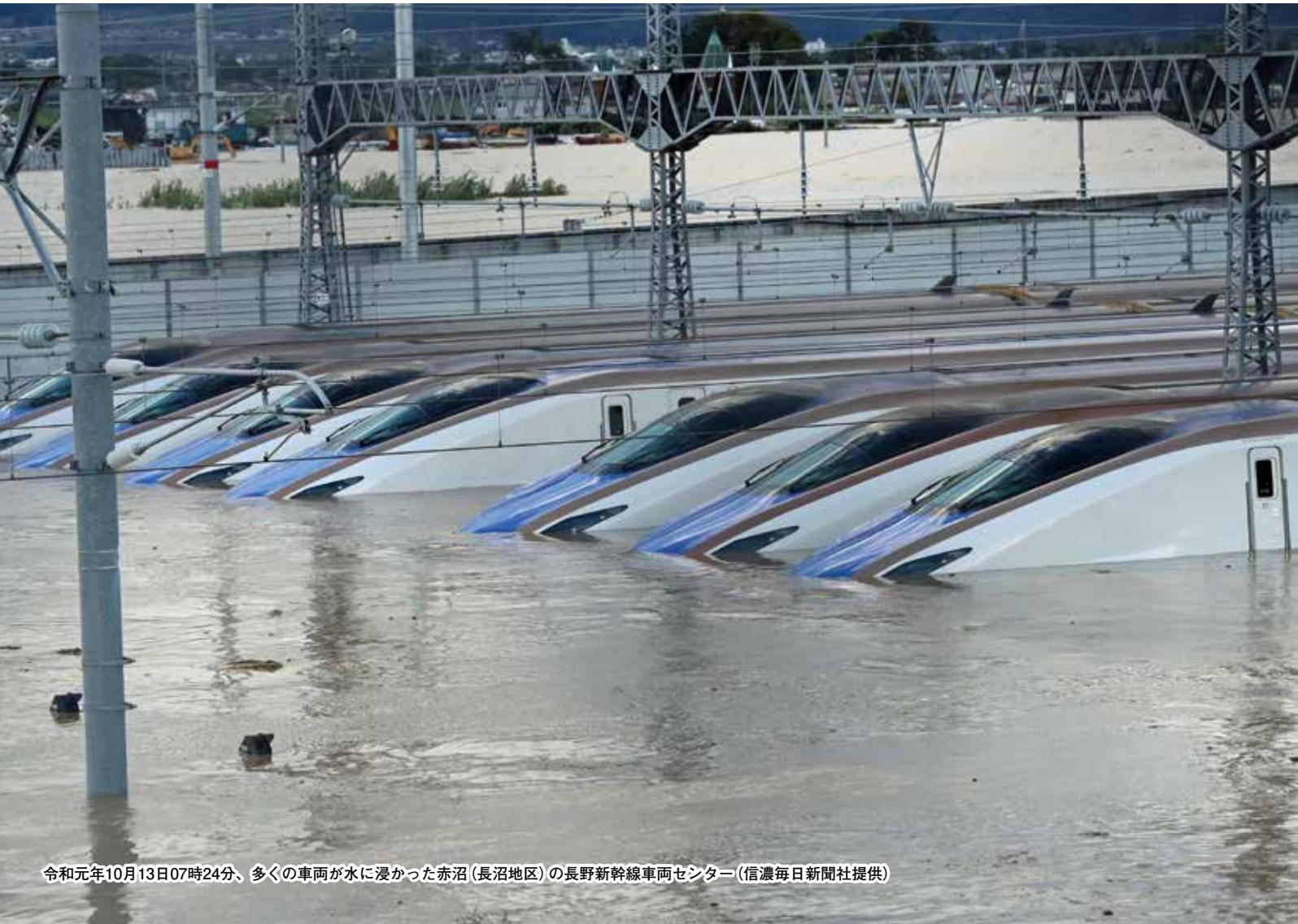




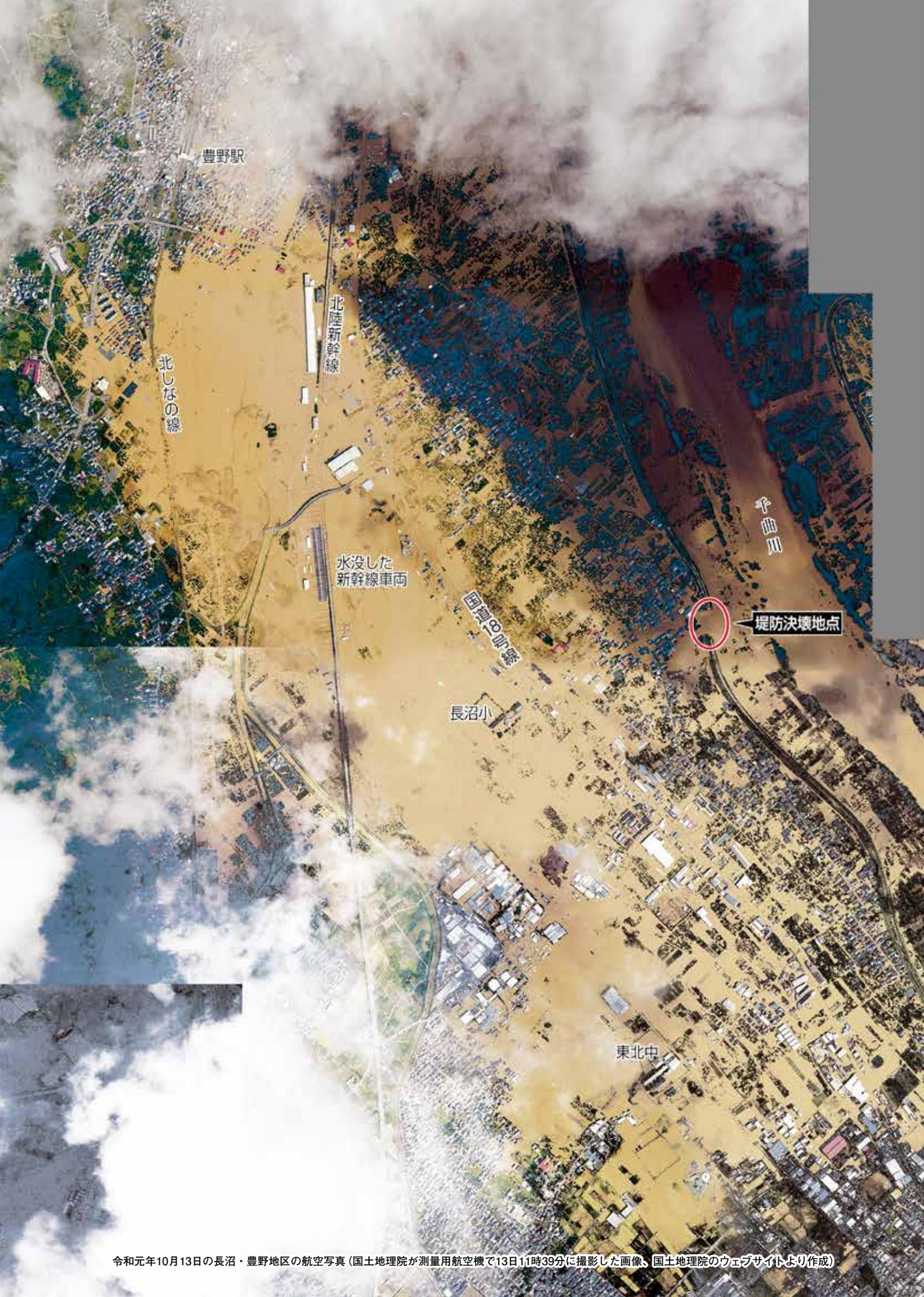
復旧工事が急ピッチで進む穂保(長沼地区)の千曲川堤防の決壊現場
(令和元年10月15日10時17分、信濃毎日新聞社提供)



穂保(長沼地区)の千曲川堤防を越える水(令和元年10月13日、国交省北陸地方整備局提供)
①13日00時55分②13日01時10分③13日02時15分、この後撮影できなくなった



令和元年10月13日07時24分、多くの車両が水に浸かった赤沼(長沼地区)の長野新幹線車両センター(信濃毎日新聞社提供)



豊野駅

北しなの線

北陸新幹線

水没した
新幹線車両

園柳公園

長沼小

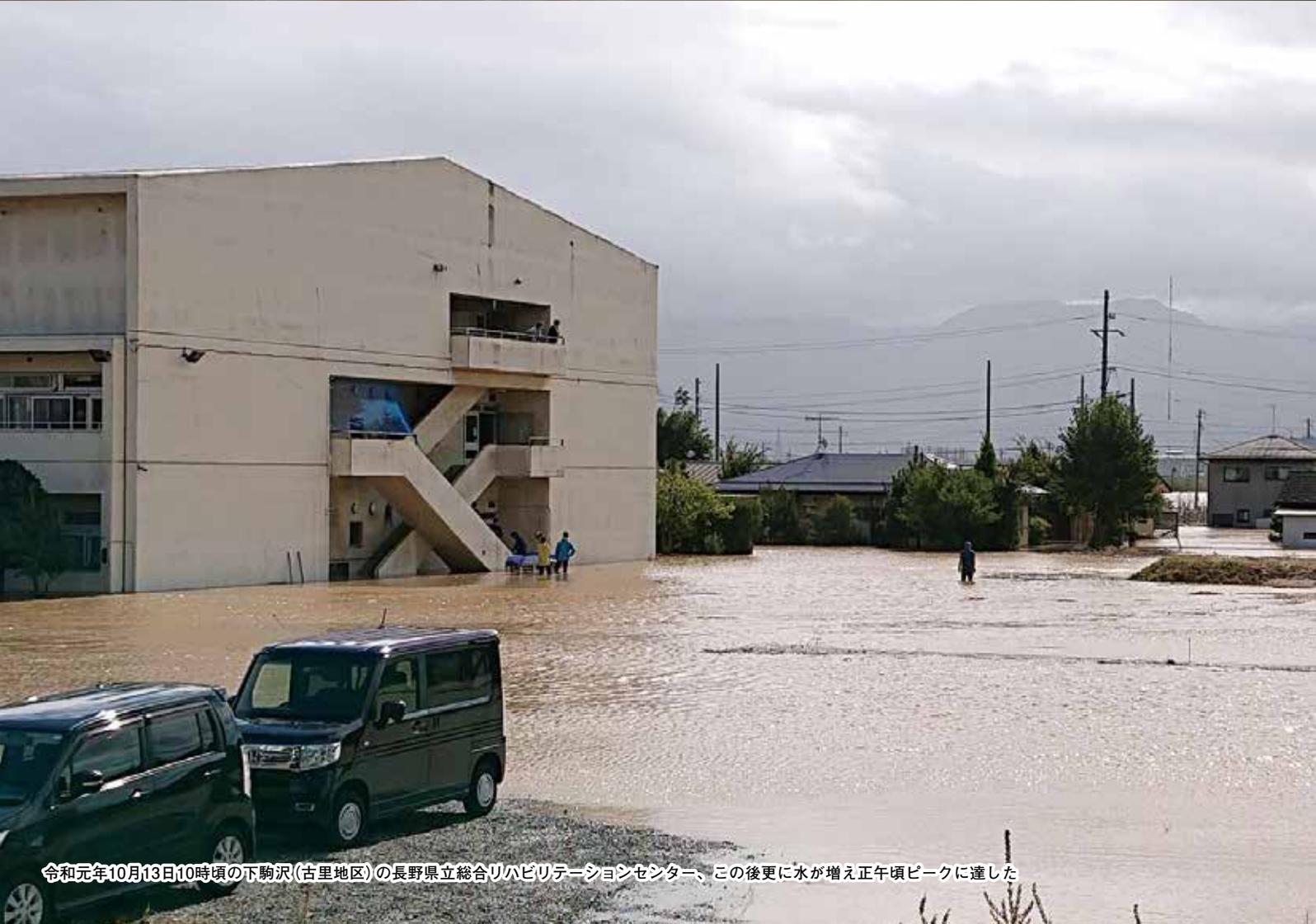
千曲川

堤防決壊地点

東北中



国道18号(アップルライン)沿いの農産物直売所アグリながま



令和元年10月13日10時頃の下駒沢(古里地区)の長野県立総合リハビリテーションセンター、この後更に水が増え正午頃ピークに達した



水に浸った豊野地区の住宅街(令和元年10月13日09時30分)



国道18号(アップルライン)沿いに広がる収穫直前のりんご畑は水で覆われ、水が引いた後には大量に流されてきた土砂と災害ごみが残された(写真は豊野地区)



令和元年10月13日06時20分、松代城、千曲川上流方面をドローンで撮影



松代、ロイヤルホテル長野前の国道403号(令和元年10月13日)



篠ノ井塩崎でポンプによる排水作業(令和元年10月13日12時17分、信濃毎日新聞社提供)



電柱が倒れ土砂が流入した県道長野菅平線、若穂保科の持者集落付近(令和元年10月13日08時15分、信濃毎日新聞社提供)



令和元年10月13日13時03分、浸水した下駒沢(古里地区)の長野県立総合リハビリテーションセンターから患者を救出(信濃毎日新聞社提供)



大町(長沼地区)で自衛隊のヘリコプターによる救助活動(令和元年10月13日10時28分、信濃毎日新聞社提供)



住宅に取り残された人をボートで救出する消防隊(令和元年10月13日、豊野地区)



令和元年10月20日、北部スポーツ・レクリエーションパークを訪れ、被災者を励ます安倍晋三首相(当時)



飲料や食料をはじめ毛布、衣料品など全国から届いた救援物資



赤沼区公会堂(長沼地区)には被災者が自由に持っていきけるように支援物資が置かれていた(令和元年11月29日)



津野(長沼地区)でがれきや泥を片付ける住民たち(令和元年10月17日、信濃毎日新聞社提供)



全国から駆け付けたボランティア(北部災害ボランティアセンターりんごサテライト、令和元年11月4日「災害NGO結」提供)



長野市指定の仮置場となった赤沼公園に積まれた災害ごみを分別する自衛隊とボランティア(令和元年11月2日)



りんご畑で泥をかき出す農業再生復興ボランティアの参加者(令和元年11月14日、信濃毎日新聞社提供)

令和元年東日本台風 長野市災害記録誌 目次

はじめに	長野市長 加藤久雄	3
------	-----------	---

第1章 令和元年東日本台風の概要 21

第1節	気象概要	22
第2節	観測状況	25

第2章 被害概要 29

第1節	被害概要	30
第2節	住家等の被害	33
第3節	公共施設の被害	34
第4節	ライフラインの被害	40
第5節	公共交通機関の被害	43
第6節	医療・福祉施設の被害	44
第7節	農林産業の被害	46
第8節	商工観光業の被害	48
第9節	文教施設の被害	49

第3章 初動対応、避難者・被災者への支援 51

第1節	災害対策本部の活動	52
	初動対応	52
	職員の動員配備態勢	60
	各種災害情報の入手	62
	災害対策本部会議	63
	各部の活動総括	67
	災害関連予算	68
	広報・報道対応	72
	職員派遣	74
第2節	避難情報の発令状況等	77
	避難情報の発令	77
	避難所の設置状況	79
	福祉避難所の設置状況	81
第3節	救助・救援活動	82
	自衛隊の活動	82
	警察の活動	85
	消防の活動	87
	海上保安庁の活動	88
	医療救護活動	89

第4節	応急対応	90
	遺体の安置・引渡し	90
	交通規制・道路啓開	91
	ライフライン・インフラ	92
	避難所の運営	93
	避難所以外の避難者への対応	94
	避難者のリフレッシュ（二次避難）	95
	避難者の医療・健康管理	96
	入浴の支援	99
	仮設トイレの支援	100
	物資、義援金による支援	101
	食事の支援	104
	り災証明	106
	給付金や税の減免による支援、災害相談窓口	107
	生活必需品の支援	108
	災害廃棄物の処理	111
	石綿飛散防止対策	112
	被災車両の調査撤去	114
	堆積土砂の除去	115
	保育所、学校教育の再開	116
	児童センター・子どもプラザ等（放課後子ども総合プラン事業）の再開	120
	市議会の活動	122
第5節	ボランティア活動	124
	ボランティア活動	124
第6節	河川・道路の応急復旧	126
	河川の応急復旧	126
	道路の応急復旧	127

第4章 災害復旧・復興

129

第1節	災害復興本部・災害復興計画検討委員会	130
	災害復興本部	130
	災害復興計画検討委員会	131
第2節	安全・安心の再生	133
	被災者の生活支援対策	133
	住まいの確保・再建支援	142
	地域コミュニティの再構築・育成	150
	生活インフラの整備	152
	公的サービス等の復旧・機能回復	155
	治水対策	160
	地域の防災・減災体制の強化	165
	行政の災害対応力の強化	167
第3節	生業の再生	172

	農林業の再建・振興	172
	商工業の再建・振興	178
第4節	^{にぎ} 賑わいの再生	180
	復興応援事業	180
第5節	被災地区別の復旧・復興	182
	長沼地区	182
	豊野地区	184
	古里地区	186
	篠ノ井地区	188
	松代地区	190
	若穂地区	192

第5章

インタビュー

195

長沼地区	復興対策企画委員会 副委員長 土屋勝さん	196
長沼地区	津野区 民生委員(当時) 笹井真澄さん	197
豊野地区	豊野区長 善財孝文さん	198
豊野地区	住民自治協議会 女性部会 清水厚子さん	200
古里地区	下駒沢区長 小林信重さん	202
篠ノ井地区	中央地区・昭和区長 海野忠一さん	203
松代地区	区長会長 町田修さん(現松代地区住民自治協議会会長)	205
若穂地区	住民自治協議会 会長 竹内守雄さん(若穂地区自主防災会連絡協議会会長)	206
JR東日本	長野新幹線車両センター 所長 滝沢和浩さん	208
NiKKi Fron株式会社(穂保・北部工業団地)	代表取締役社長 春日孝之さん	209
長沼林檎生産組合	ぼんど ^ど 童 組合長 徳永慎吾さん	211
長野県社会福祉協議会	総務企画部企画グループ主任 山崎博之さん	213
長野市社会福祉協議会	事務局長兼総務課長 庭山透さん	215
まちの縁側ぬくぬく亭(豊野地区)	リーダー 春原圭太さん(賛育会)	217
長野市建設業協会	副会長 湯本宜成さん(現会長)	218
自衛隊	松本駐屯地 第13普通科連隊 本部管理中隊長 1等陸尉 青山隆志さん	219
長野中央警察署	豊野町交番 所長 加部登志彦さん	221
長野県消防相互応援隊	松本広域消防局 麻績消防署長 上原康二さん	222
緊急消防援助隊	陸上部隊 新潟市消防局 大隊長 江部崇さん	223
緊急消防援助隊	航空部隊 福井県防災航空隊 副隊長 西村光平さん	224
長野市消防団	長沼分団 副分団長 高見澤昇さん	225
長野市派遣職員	愛知県春日井市役所 保健師 加藤健剛さん	227

資料編

229

信濃毎日新聞報道記事	229
------------	-----